

<はじめに> 地球温暖化について考えよう

地球の現在と未来

今、日本や世界で、台風や集中豪雨^{ごうう}など、様々な自然災害が起きています。このような自然災害が引き起こされる原因の一つとして、地球温暖化があります。

自然災害のほかにも、地球温暖化によって、暑さで農作物が育たなくなる、水産物がとれなくなるなどの現象が現れはじめています。

地球温暖化が進行すると、自然災害の発生する頻度^{ひんど}や規模が大きくなるとも予測されています。私たちの将来や、次の世代が生きるころ地球は大丈夫^{だいじょうぶ}なのでしょうか。

■ 台風や集中豪雨^{ごうう}の様子*1



だっ 脱炭素社会を目指して

地球温暖化問題の解決に向け、2015（平成27）年パリで、世界の平均気温^{じょうしやう}上昇^{おさ}を産業革命以前に比べて2℃より低く保ち、1.5℃に抑える努力をすることを世界共通の長期目標とするパリ協定が決められました。

また、気温^{じょうしやう}上昇^{おさ}が1.5℃を大きく超えないようにするためには、2050年頃^{ごろ}には、地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO₂）の排出量^{はいしゆつ}を実質ゼロ（排出量^{はいしゆつ}と吸収量^{はいしゆつ}が等しい）となる必要があることが分かってきました。このような脱炭素社会^{だっ}を目指すためには、人々の暮らし方も大きく変える必要があります。

【パリ協定】

・2015年フランス・パリで開催された気候変動に関する国際会議で合意された取り決め。
・長期目標として、「世界の平均気温^{じょうしやう}上昇^{おさ}を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をすること」、「21世紀後半には、温室効果ガス排出量と、森林などによる吸収量のバランスをとること」が記された。

【実質排出量ゼロ】

・二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量^{はいしゆつ}から、植物が光合成で吸収した量を差し引いて、排出量^{はいしゆつ}と吸収量^{はいしゆつ}が釣り合った状態。

*1 福岡県防災教育副読本風水害編小学校高学年用（福岡県）
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bousai-hukudokuhon.html>

地球温暖化対策とSDGs

それでは、地球温暖化対策のためには、がまんしたくらしをしなければならないのでしょうか。地球温暖化を防ぐために不健康になってしまつては、取り組みが長続きしません。私たちのくらしを豊かにしながら、地球温暖化対策を進めていくことが重要です。

そこでヒントになるのが、^{エスディー・ジーズ}SDGsです。SDGsは、^{かんきょう}環境、^{けいざい}経済、^{ふく}社会を含め、^{かんきょう}持続可能な社会を実現するための国際的な目標です。地球温暖化を解決するためには、^{かんきょう}環境のことだけでなく、^{けいざい}経済や^{ふく}社会のことも考えて、みんなが安心して生きていける持続可能な社会を実現することが大切です。

【SDGs】

- ・2015年に国連で採択された、2030年までに達成する17の目標（ゴール）。
- ・キーワードは、「だれ一人取り残さない」。

知識と行動で持続可能な社会を

持続可能な社会を実現するためには、知識を増やすだけでなく、まわりの人と話し合い、協力し、行動していく必要があります。

そこで、地球温暖化をはじめとする^{かんきょう}環境問題について、「なぜ今そうなっているのか」「自分に今どういうことができるのか」といったことを考え、気づき、一人ひとりが^{かんきょう}環境に対する行動を見つめなおすきっかけとなるよう、この福岡県地球温暖化対策ワークブックがつけられました。

未来を担うみなさんが、地球温暖化について理解し、解決に向けて行動していくために、ぜひこのワークブックを活用してください。

■ SDGsの17のゴール*2



*2 SDGsのロゴ・アイコンおよびガイドライン（国際連合広報センター）
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/